

(特)自然回復を試みる会 ビオトープ孟子

ビオトープ孟子では、活動フィールドとしている海南省孟子の里山において、生物多様性保全の観点から、里山林とそこに生息する動植物の保全に取り組んでいます。

紀の国森づくり基金活用事業においては、これまで放置され、イノシシのヌタ場と化していた溪畔地において、間伐や竹林整備を実施し、そこで発生した間伐材や竹を有効活用して水の流れを改善することで、下流にある滝の水流を復元しました。

また、里山森林の整備並びに歩道の設置も行なったところ、周辺の山道と併せ、大旗山への山歩きの道として書籍に取り上げられ、多くの人に山に親しむ機会が増えたと喜んでもらっています。

また、海南省が紀の国森づくり基金活用事業の補助を受けて実施するわんぱく公園の事業にも指定管理者として関わっており、園内の樹木案内板の整備などについて和歌山大学の学生とコラボしたり、トンボ調査に海南高校の学生を受け入れるなど、子供達的环境教育も併せて取り組んでいます。

紀の国森づくり基金を使用したこうした事業は、整備活動もさることながら、整備後いかに多くの人たちに利用してもらえるかということが非常に重要であり、今後も常にそうした視点に立って活動していきたいと思っています。



特定非営利活動法人 南紀こどもステーション

南紀こどもステーションでは、ゲームやテレビ漬けの子供が増えているなか、自然の中で5感を養うことを目的に、平成14年度から自然体験教育活動を開始し、平成19年度から紀の国森づくり基金活用事業を活用して、子供達を対象に、この和歌山の豊かな森林を主なフィールドとする体験活動「熊楠塾」を開催してきました。

熊楠塾という名前で部屋で勉強する塾と間違える子供もいましたが、参加してこんな体験ならもっと早く行ったのにと、小学校で一番楽しかったなどのうれしい声をいただいています。

これまで300人以上の子供が、この塾のなかで学び育っていましたが、この豊かな自然のなかで子供達が様々な体験をすることで、大人になっても、森林や自然を大切にするという心を養うだけでなく、地域を大切にする、ボランティアに積極的に参加する、挨拶ができるなど総合的にコミュニケーションのできる人に育っています。

これからも、この和歌山の大切な森林を守り育てる人を創るとともに、この豊かな森林を活かし、子供達の豊かな心を養う活動をしていきたいと思っています。

